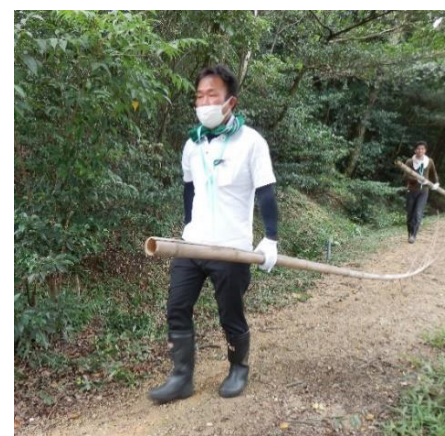


# 9月11日(金) その2

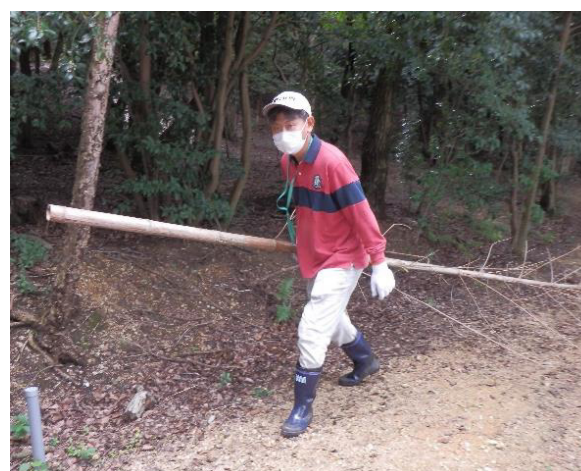


初参加の男性は2回目の作業以降、竹の運び出しに合流しましたが、紙面に限りがあり、その写真は割愛させて頂きました。前日も同じです。申し訳ありません。



↑コンサルティング東海の皆さん

↑セブンイレブン刈谷井ヶ谷町店の皆さん



2日目は、1日の参加者数が過去最多の27人。この密度は不可避でしたが、写真の迫力は違いました。

出光さんグループの参加は前日と合わせ16名。2日間参加が1名あり、延べ参加者数は過去最多の昨年と同じ17名でした。三浦支店長の感化があるのかもしれませんが、ありがとうございます。



**カキツバタ群落保全に汗**  
刈谷小堤西池住民ら参加、あすまで

国の天然記念物に指定されている。十三日までに、刈谷市井ヶ谷町の小堤西池のカキツバタ群落で、地元住民やボランティアによる保全活動が行われ、

井ヶ谷地区の住民でつくる「小堤西池のカキツバタを守る会」が主催。毎年の活動には、協力企業の従業員やアンバサダー、アセスの除草と、水源の丘陵地の竹の伐採が主な作業。初日の十日は百人余が参加。広さ二万三千三百平方メートルの池に入り、鎌や機械で草を刈り取った。

今年には新型コロナウイルス感染症防止のため、作業は午前中に限定。花の見頃の五月は、例年のように見学を呼び掛けたものの、約六千人が足を運んだ。野々山園芸会長(右)は「濃い紫の花が一面に咲いてきれいだった。来年も多くの方に訪れていただき、素晴らしい自然環境とともに楽しんでほしい」と話した。

小堤西池は京都市北区の大田ノ沢、鳥取県岩美町の唐川温泉と並ぶ日本三大カキツバタ自生地の一つ。(神戸慶)

↑この日の記事が翌日12日の中日新聞「西三河版」に載りました。カキツバタは「刈谷市の花」だけでなく、「愛知県の花」なので、「県内版」どころか「社会面」で扱ってもいいと思うのですが・・。なお、残念ながらイデキューグループは写っていません。